

ことうらゼロカーボンチャレンジ宣言

地球温暖化の影響は、環境・社会・経済などのあらゆる分野にわたり、極端な気象現象、海面上昇、生態系の変化など、私たちの日常生活や未来に深刻な打撃を与えることが危惧されています。

本町においても、平成19年の局地的豪雨や平成23年や平成30年の台風災害などにより、甚大な被害を受けています。また生態系においては、海水温の上昇が原因の一つと言われているウニの大量発生とその食害によって、沿岸部の海藻が減少・消失してしまう磯焼けの現象を招き、水産業にも影響を及ぼしています。これら地球温暖化とその影響の拡大に歯止めをかけるべく、あらゆる対策を講じていくことが急務となっています。

2015年にフランスのパリで開催された国連気候変動枠組条約締約国会議（COP）において、世界全体の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2℃未満に抑え、さらには1.5℃以下に抑えるよう努力する目標などを掲げたパリ協定が採択されました。そして2018年に気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が発表した特別報告書では、社会のあらゆる側面で急速かつ広範な、これまでに例を見ない変化が必要だと述べており、全世界の人為的な温室効果ガス排出量は2050年頃に実質ゼロにする必要があることが示されました。そして2020年には日本政府が、2050年までに排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を目指すことが宣言されました。

本町ではこれまで、化石燃料に依存しない再生可能エネルギーの普及に向けた支援を行ってきたほか、軟質プラスチックのリサイクルや生ごみの堆肥化に向けた実証実験でごみの減量化を目指すなど、地球温暖化対策に向けた取組みを進めてきました。地球温暖化対策は、生態系のほか、人間の健康や生活に対する影響を緩和し、安心・安全な暮らしにもつながります。

私たちは、豊かな環境を未来につなぐ責務を負っています。今後も地球温暖化対策に資する施策を強化しつつ、今こそ町民・事業者・団体・行政機関が「オール琴浦」の体制で協働し、カーボンニュートラルの実現に向けて積極的かつ継続的に挑んでいくため、「ことうらゼロカーボンチャレンジ宣言」をここに宣言します。

- 1 温室効果ガス排出量の削減やエネルギーの利用効率向上など、カーボンニュートラルの達成に向けた取組みを強力に進めます
- 2 地域特性に適した再生可能エネルギーの導入を積極的に推進します
- 3 エネルギーの地産地消による地域内経済循環を目指すとともに、気候変動に対応しうる強靱で持続可能なまちづくりを目指します
- 4 温室効果ガスの吸収源となる森林や藻場の保全に努めます

令和6年3月22日

琴浦町長 福本まり子